

ふくしま ★ゆめ トライ★

福島県内で夢に向かって
新たなチャレンジをしている方、
地域を盛り上げるために
頑張っている方を紹介します！



メンバーはほとんどが県外在住。広報・グズ・渉外担当と分かれ活動しています

よさこいを通して、笑顔の輪を広げ 福島の希望となるイベントに

福島 YOSAKOI — 乱舞 —

副実行委員長 佐藤 優至さん (郡山市)



今年の12月7日(日)には、よさこい祭りをサン・サン・グリーン湖南で開催する予定。取材当日、佐藤さんは踊りの一部を披露してくれました。[冬の開催ですが、熱気に包まれること間違いなしです!]



4回目は今年9月に開催。チーム最人数は50名で、各自オリジナルの踊りを披露しました。



イベントで楽しく踊る様子を見て、自分もやってみたいと始めた方もいるのだとか。

1954年に高知県で生まれた『よさこい』。市民を元気づけようと始まり、今では全国に広まっています。その文化を福島で受け継ぐ団体の一つが『福島 YOSAKOI — 乱舞 —』です。「以前は県内で大きなよさこい祭りが行われていたのですが、コロナ禍によって途絶えてしまってもう一度盛り上げようと2022年に発足しました」と話すのは副実行委員長の佐藤優至さん。メンバーは17名で、週に一回オンライン会議を設け、2022年から毎年12月に郡山市でよさこい祭りを開催しています。3回目となった昨年、北は秋田、南は東京から30の団体が参加し、観客を含め約1,000人が集まりました。

特徴はお祭り全体に漂うアットホームな雰囲気。参加者同士が互いのチームに温かい声をかけ、お祭りを通じて交流しています。県外の参加団体からも「チームの垣根を越えて、楽しく踊ることができると評判なのだそう。『私たちのモットーは、踊りやすい環境をつくり、楽しいイベントにする』です。私たちの思いが皆さんに伝わり、心と心が通い合い、年々観客数が増えていると思うとうれしいです」と佐藤さんはほほ笑みます。今後は規模を拡大し、よさこいを知らない方にも足を運んでもらい、より一層盛り上げたいと話します。参加者と観客が共に楽しみ、福島の希望が広がるイベントにするため、力の限りを尽くします。

お問合せは
こちらまで!

ホーム
ページ



読者からの
お便り

会津坂下町の杉山地区にはよく行きます。アップルパイはとても人気だと近所の方から聞きました。私も食べましたが、とてもおいしかったです。(30代 会津若松市)

2025年
12月号

ゆめ
トライ